

東京2020オリンピック聖火リレーのあらまし

2021年3月25日、東京2020オリンピック聖火リレーが福島県をスタートし、121日間かけて全国47都道府県を巡りました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために発出された「まん延防止措置」や「緊急事態宣言」により、地域によっては公道中止になる中、埼玉県のオリンピック聖火リレーは、同年7月6日～8日の3日間、県内40市町(さいたま市・川口市区間公道中止)で実施されました。

そして、杉戸・宮代両町では、7月7日埼玉県2日目第6区間として、杉戸町役場から東武動物公園駅東口までの約1.3kmを、6名のランナーが「希望の光」を繋ぎました。

なお、杉戸町区間では、スポーツ・行政区・商工・消防・交通・防犯など、多方面から総勢200名を超える運営スタッフの皆さんに、雑踏警備や運営のご協力をいただきました。

また、「古利根川流灯まつり」の「大型灯籠」(30基)を出発地点や沿道に設置、さらには、地元商店・事業所のご協力により、沿道に沢山ののぼり旗(約250本)をはためかせ、聖火ランナーを出迎えました。

公益社団法人東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会、東京2020埼玉県聖火リレー実行委員会が、新型コロナウイルス感染症対策の徹底や観覧自粛等を呼び掛ける中でしたが、杉戸・宮代区間沿道には、約1,800名の観覧者が集まり、聖火ランナーにエールを届けました。

数字で見る東京2020オリンピック聖火リレー

121 日間 47 都道府県実施日数	3 日間 埼玉県区間実施日数	40 自治体 埼玉県区間実施自治体	274 人 埼玉県区間の聖火ランナー人数
6 人 杉戸町・宮代町区間の聖火ランナー人数	1.3 km 杉戸町・宮代町区間ルート距離	16 分間 杉戸町・宮代町区間ルートの通過時間	30 基 杉戸町区間に装飾された大型灯籠の数
250 本超 杉戸町区間の沿道に設置されたのぼり旗の数	245 人 杉戸町区間の雑踏警備員の人数 (実施本部員：運営スタッフ)	109 人 杉戸町区間の交通警備員の人数	約 1,800 人 杉戸町・宮代町区間の観覧者数 (埼玉県実行委員会調べ)